

令和3年度蓮田市青少年問題協議会会議録

開催日時	令和3年12月14日(火)			
	午前10時00分 開会	午後12時00分 閉会		
開催場所	蓮田市役所 201会議室			
委員出席状況	氏名	出欠	氏名	出欠
	中野和信 会長	○	西山通夫 委員	○
	幅口伸二 委員	○	勝浦敦 委員	○
	香川京子 委員	○	木村若菜 委員	○
	細村勇司 委員	○		
事務局等出席者	生涯学習部長 新井宏典 子ども支援課 課長 坂口洋子 副主幹 水沼哲也 主事補 有泉千代子			
傍聴者	無し			
会議事項	議事			
	(1) 蓮田市の青少年健全育成事業について			
	(2) 岩槻警察署管内の青少年犯罪の動向について			
	(3) 意見交換			
	(4) その他			
会議資料	① 資料1	蓮田市青少年問題協議会委員名簿		
	② 資料2-1	蓮田市青少年問題協議会について		
	③ 資料2-2	蓮田市における主な青少年健全育成支援		
	④ 資料2-3	市内年度別 不登校・いじめ報告件数		
	⑤ 資料2-4	子ども食堂について		
	⑥ 資料3	[岩槻警察署提供]岩槻警察署管内の青少年犯罪の動向について(当日回収)		
	⑦ 資料4	蓮田市青少年問題協議会設置条例		
	⑧ 資料5	地方青少年問題協議会法		
会議経過(議事の要旨)				
1 開会 本日の審議会については、委員7人中7人が出席していることから、会議が成立する旨の確認を行う。				
2 あいさつ 中野市長(会長) 会長以外の委員6名 事務局 資料2-1「蓮田市青少年問題協議会について」を説明。(事務局)				
3 議事 (1) 蓮田市の青少年健全育成事業について ・現在の蓮田市における主な青少年健全育成事業(資料2-2~2-4)を報告。(事務局)				

【質疑・主な意見】

- ・保育と子どもは厚生労働省、教育に入ると文部科学省と機関が変わるが、蓮田市では生まれてから義務教育の中学校卒業までを一貫して教育委員会が行っているので連携ができています。(委員)
- ・広報 12月号の6ページに子ども食堂が掲載されているのでこういった活動が行われていることを知ってほしい。(委員)

(2) 岩槻警察署管内の青少年犯罪の動向について

- ・埼玉県や蓮田市内の青少年犯罪の動向について事例を交えて報告。(幅口委員)

【質疑・主な意見】(⇒は幅口委員の説明)

- ・夜に巡回をしている際、以前は夜遅くまでうろついている中学生が多かったが、今はほとんどいない。これは新型コロナウイルスの影響もあるのではないかと考えている。現在の蓮田市内の中学生の動向を教えてください。(委員)

⇒最近では委員が体感しているとおりに補導の件数が減り、少年の取り扱いも減っている。岩槻警察署としては啓発活動や巡回をしっかり行い、子どもたちの安全を見守っている。(委員)

- ・親が幼児を連れて夜遅くに外出することが増えたように感じる。こういった親子を見つけた場合、指導が難しいと感じるがどうしたらよいか。(委員)

⇒指導の仕方が難しいようであれば、通報することも1つの手だと思う。(委員)

- ・先日神奈川県でオートバイの暴走行為事件があり少年が一斉に検挙されたが、バイク関係の事件は増えているのか、状況を教えてください。(委員)

⇒つい先日市内で大量のバイクが走っていて110番通報があったが、少年ではなく40代の大人だった。岩槻警察署管内では少年に係るバイクの暴走行為の事案は起こっていない状況である。(委員)

- ・両親がそろっていてもDVであったり、生活に困窮しているなどさまざまな問題が絡み合った結果、子どもたちが深夜徘徊する環境が作られているのか。いろいろな環境と複雑に絡み合って非行に走ってしまうと思うが、検挙してみてもわかることやそういった子どもたちに共通点はあるか。(委員)

⇒家庭環境が良くない場合、万引きなど警察が扱うような事案に巻き込まれやすいと感じている。家庭環境が大事だと考える。(委員)

- ・非行防止教室は警察署の方が行っているのか。(委員)

⇒警察官と補導員が学校などに出向いて行っている。学校から依頼があれば派遣することができるので、ぜひ周知していただきたい。(委員)

- ・非行防止教室を行って、効果はあったか。(委員)

⇒効果があったかどうかは子どもたちなので難しいが、こういうことが犯罪につながるのだと思ってもらえるだけでも効果はあるのかと感じながら行っている。毎年行うなど継続が大事だと感じている。(委員)

- ・非行に走った子どもを更生させるにはどうしたらよいか。(委員)

⇒子どもは親を見て行動しているので、家庭環境を大事にしてほしい。(委員)

(3) 意見交換

- ・今年10月に文部科学省において「令和2年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」が発表された。いじめの認知件数は全国で約51万件あり、前年と比べると減少傾向にある。蓮田市も全国と同様に減ってきているが、不登校は小学校・中学校ともに増加傾向にある。この理由について、文部科学省は新型コロナウイルスの影響で対面によるコミュニケーションの不足や生活の

乱れが原因であると考えているが、体験的活動の不足が原因なのではないかと考えている。今の子どもたちは行事がなくなり、友人と遊べない、給食を静かに食べなくてはいけないなど多くのストレスを抱えているように感じる。その影響からか情緒不安定な子どもが多くなってきていて、授業に集中できず席を離れてしまう子どもや、先生が話している時に自分の発言をする子ども、友達の発言に横から口を挟む子どもなど突発的な行動を起こす子どもが増えている。家庭の問題を学校に持ち込む保護者が増えてきているので家庭への啓発に力を入れていきたい。(委員)

- ・市内の子どもの問題と同時に問題の背景にあるものを見ていかななくてはならないと強く感じた。今まで、暴力のDVや経済的DVの悩みを多く聞いてきたが、家庭の問題や社会構造の問題の根底を解決していきたいと思った。(委員)
- ・小学校で朝の挨拶運動をしているが家庭の問題が増えているように感じる。子どものことは子どもが解決するのが一番だと考えている。新型コロナウイルスの影響で我慢をしている親子が多く、いろいろな意味でコミュニケーションが不足している。親子だけでなく、学校の先生までストレスを感じていると聞いた。地域全体で子どもたちを見守ることが大事だと思う。(委員)
- ・来年からは新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意し、親子が楽しめるイベントを増やしてほしいと思った。(委員)
- ・今ヤングケアラーが問題になってきているがストレスや不安が爆発して非行に走らないよう、はけ口となる窓口があると良いと思った。(委員)

(4) その他

(特になし)

4 その他

事務局より事務連絡

5 閉会

西山委員